

2021 FREEWING USER GUIDE



Alvaro Onieva wingfoiling in Tarifa.

Rider: Alvaro Onieva Photographer: Samuel Cárdenas

AIRUSH
KITEBOARDING

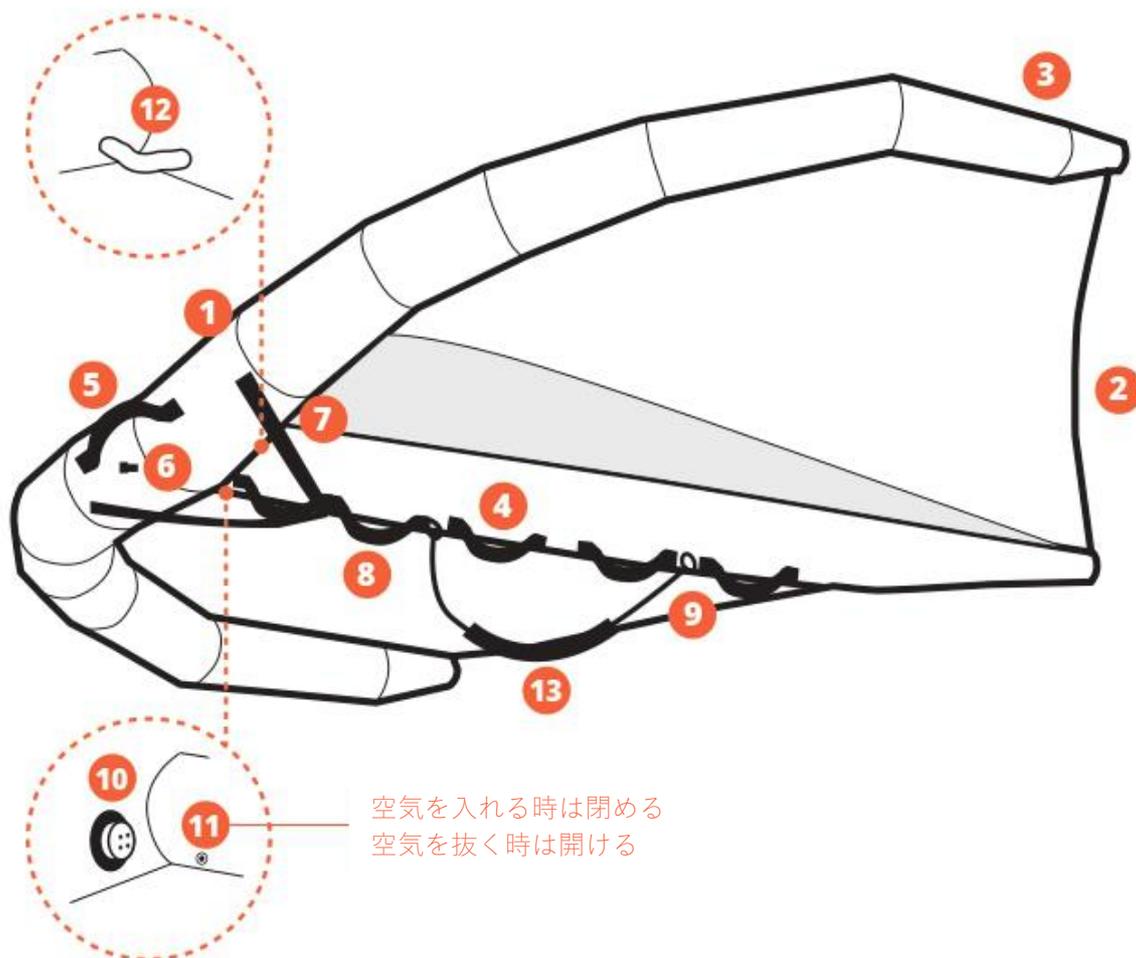


STARBOARD
INNOVATION QUALITY

CONTENT

1.	FREEWING	03
2.	ウインドチャート & 推奨空気圧	04
3.	ウイングの空気の入れ方	05
4.	ハーネスラインの設置方法	07
5.	ウイングの空気の抜き方	10
6.	安全	12
	ルール No.1：安全第一	12
	ルール No.2：セキュリティシステム	14
	ルール No.3：周囲への配慮と敬意を示す	14
7.	メンテナンス	15
	使用前	15
	使用中	15
	使用后	15
8.	リペア	16
9.	STARBOARD/AIRUSH 保証	18

THE FREEWING



THE FREEWING

01. リーディングエッジ - ウイング前端
02. トレーディングエッジ - ウイング後端
03. ウイングチップ
04. セントラルストラート
05. ニュートラルハンドル
06. リーシュアタッチメント
07. ダイアゴナルハンドル
08. フロントハンドル
09. バックハンドル
10. リーディングエッジバルブ
11. セントラルストラートバルブ(5,6,7 m²のみ)
12. ホースクランプ

ACCESSORIES

13. ハーネスライン
(パッケージに含まれません)
 - ・1×ウイングバッグ
 - ・1×リストリーシュ
 - ・1×リペアキット

ウインドチャート & 推奨空気圧

私たちのウイングはあらゆるコンディションに対応できるように作られています。パワフルで操作性に優れ、安定性が高く、フルスピードでのライディングが可能です。チャートには風域と推奨の空気圧が記載されています。空気圧を高めすぎるとウイングが破裂する恐れがあります。

注：75kgのライダーが基準です

SPECIFICATION			
Size:	Area:	Wind Range:	Recommended Inflating Pressure:
<small>FREEWING</small> AIR ²	2 m ²	28-50+ knots	7 psi
<small>FREEWING</small> AIR ³	3 m ²	20-40 knots	6 psi
<small>FREEWING</small> AIR ⁴	4 m ²	13-35 knots	6 psi
<small>FREEWING</small> AIR ⁵	5 m ²	11-28 knots	5 psi
<small>FREEWING</small> AIR ⁶	6 m ²	9-24 knots	4 psi
<small>FREEWING</small> AIR ⁷	7 m ²	8-20 knots	4 psi

*練習中は常に責任を持ち、周囲への注意を払って行ってください。極端な風や波の状況を避け、障害物には近づかないようにしてください。

*風速に応じてウイングのサイズを選択してください。

*ウイングを膨らませるために必要な圧力は、ウイングのサイズによって変わります。これは表面にかかる力が $F=PS$ で定義できるという事実によるもので、Fは力、Pは圧力、Sは表面積です。

ウイングの 空気を入れる方法

1. ウイングを広げる場所に、岩やフェンスのような鋭利なものがないことを確認してください。
2. 風を避けられる場所を探し、ウイングに空気を入れます。もし、風を遮ることができる場所を見つけれない場合は、人にウイングを押さえてもらい、空気を入れましょう。
3. 風向を確認し、リーディングエッジが風上になるように、そしてストラートを上向きにして、地面にウイングを置いてください。
4. ストラートとリーディングエッジを繋ぐホースのクランプが開いていることを確認してください。



5. センターストラートのエアバルブが閉じていることを確認します。(5,6,7 m²のみ)
6. ウイングを広げ、折り目がないことを確認してください。これにより、翼端を劣化させることなく空気が流れ込むようになります。



7. ポンプのフックコネクタをリーシュノットに取り付けます。



8. バルブのベースを時計回りにねじ込み、リーディングエッジのねじ山に挿入します。バルブに砂やゴミが付着しないよう注意してください。空気が漏れてしまう場合があります。



9. ポンプノズルをバルブに差し込み接続します。時計回りに回すと挿入しやすくなります。

10. 推奨空気圧まで空気を入れます。
11. ホースクランプをしめてください。



バルブを閉じるには、クランプの歯のラチェットを感じながら、クランプをきつめに摘んでください。(空気漏れした場合の浮きを確保)



12. ハーネスラインを所定の位置に固定します。- 7 ページの”ハーネスラインの結び方”を参照してください。
13. リーシュを装着したら、セットアップ完了です。ボードのセットアップや、ウォーターウェアに着替える時に、リーシュを使用して、重さのある安全なものにウイングを固定することができます。

ハーネスラインの 設置方法

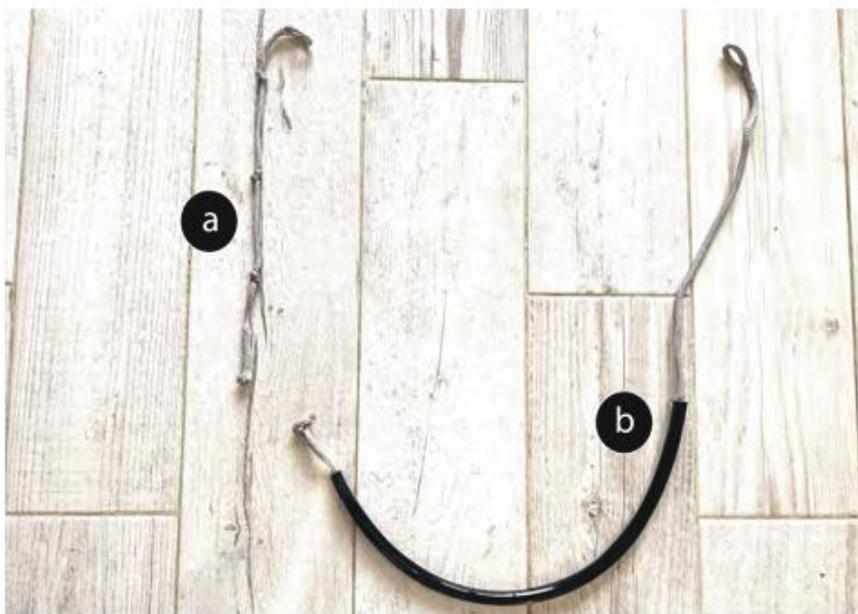
ウイングはライディング中の快適さを追求した設計になっています。ハーネスラインはウイングをより簡単にさせてくれます。トリックに全てのエネルギーを注ぐことができ、水上での滞在時間を長くすることができます。

ラインの設置方法

セントラルストラートには(A)と(B)の二つのループがあります。リーディングエッジよりを(A)、トレーディングエッジよりを(B)とします。



ハーネスラインは、短い結び目の異なるロープ(a)と、黒い PVC を取り付けた長いロープ(b)の2つのピースで構成されています。





1. ループ(A)にロープ(a)を差し込みます。



2. ロープ(a)の端のエンドノット(輪)にロープ(a)の逆端を通します。



3. 締め付けて、ループ(A)が結び目で締められている事を確認します。



4. ロープ(b)取り、(B)のループを使ってステップ“1”と同じようにする。



5. ロープ(b)の端の、長いループに、逆端を通します。



6. 締め付けて、ループ(B)が結び目で締められていることを確認します。



7. ロープ(b)のループをロープ(a)の結び目に接続します。



8. ロープ(b)の端の輪を利用して、輪を作り、その輪にロープ(a)を通して、ロープ(a)の結び目のところで締め付け、固定します。長さは体格に合わせて調整して下さい。

ウイングの 空気を抜く方法

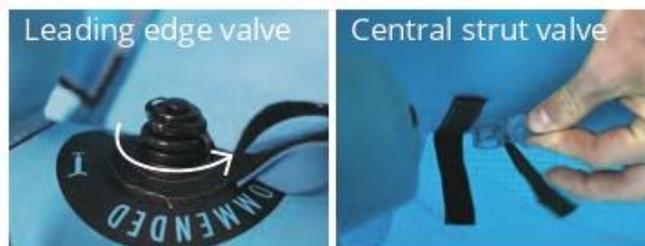
ウイングを傷つける可能性のあるものがない場所においてください。尖った石や、割れたガラス、そのほか鋭利なものには近づかないようにしてください。

1. ホースクランプを開けてください。



クランプを開けるには、爪が引っかかっている側のレバーを開くようにすると、開けることができます。

2. リーディングエッジについているバルブのベース側を反時計回りに回して空気を抜きます。5,6,7 m²にはセントラルストラットにもバルブがあり、より早く抜くことができます。



3. 翼端の片方から空気を抜いていきます。



4. 手でリーディングエッジの空気を押すようにして空気を抜いていきます。



5. 反対側も同じようにしてリーディングエッジの空気を抜きましょう。



6. 手でセントラルストラートの空気を抜くようにまるめていきます



7. リーシュを使って、ウイングが広がらないように固定しましょう。



安全

ウイングでフライトする前にこれらの安全規則を注意深く読み、必ず保管しておいてください。大きな窓、ホースクランプ、リーシュは重要な安全要素となります。常に注意を払い、チェックしておきましょう。日頃から意識して乗る前に異常がないか確認することが、トラブルを回避する重要なポイントとなります。安全のポイントをご紹介します。

RULE No.1: 安全第一

ウイングフォイルリングは安全なスポーツですが、コンディションやその場の状況、また、ライダーの健康状態や、ギアの状態、そしていくつかのルールを守らずに行うことにより非常に危険を伴う場合があります。常に安全を意識し、ギアや健康の状態、周囲の状況を把握しましょう。

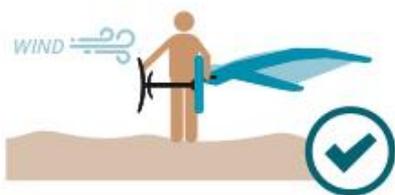
・水に入りやすいアクセスポイントを選びましょう。

岩場や大きな波のある場所でのエントリーは常に避けましょう。大きな波の中では、ギアだけでなく自分自身にとっても危険な場合があります。



・ボードを運ぶ時には常にコントロールしてください。

風上にフォイルを向けて持ち、風下にウイングをニュートラルな状態を保ちながら持ちましょう。フォイルは鋭利で尖っているため、ウイングにダメージを与える可能性があるため、ウイングをフォイルに近づけないようにしましょう。



・ウイングフォイルリングを行う場所の水深を確認してください。

フォイルが海底に十分に当たらない場所まで歩いて押しに行きスタートしてください。岩や岩礁に注意してください。事前に行う場所の情報を収集してから行ってください。



・岩、崖、栈橋、漁具には近づかないようにしましょう。
必ず簡単にビーチに戻ることができる場所で乗るようにしましょう。セーリングが禁止されている場所には近づかないようにしましょう。

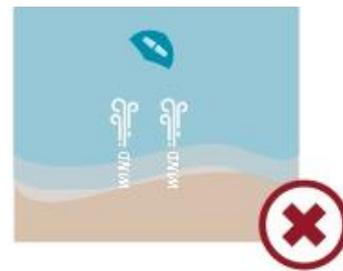
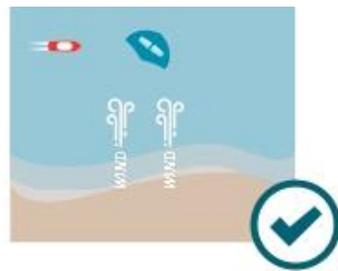


・ライドシェア

緊急時には、最終的に助けを呼ぶことができる他のライダーと一緒に練習することをお勧めします。単独での練習は避けましょう。



・オフショアでは絶対に練習しないでください。
サポートのボートなどがある場合を除きます。



・激しい風や波のコンディションでのライディングは避けてください。
風速 40 ノット以上、また 5 フィート以上の波の中での練習は控えてください。



RULE No.2: セキュリティシステム

安全のために、以下のアクセサリを使用する事を強くお勧めします。

ヘルメット

万が一の事故に備えて、ボードやフォイルから身を守るため、その他不測の事態が発生した場合のためにも、ヘルメットの着用をお勧めします。

ウェットスーツ

水温に合わせてウェットスーツの長さや厚さを選びましょう。ウェットスーツは寒さから身を守るだけでなく、ボードやフォイルの接触による怪我のリスクも低減します。

ライフジャケット/インパクトベスト

ライフジャケットやインパクトベストはボードやフォイルの接触や転倒した時の衝撃の吸収をする役割があります。また、トラブルによって岸まで泳ぐ際に浮いてくれるため、体力の消耗なども抑えることができます。

ウイングリーシュ

ウイング用のリストリーシュをリーシュ取り付け部に接続し、身体から離れないようにしてください。リーシュが外れないようにしっかりと取り付けてください。

ボードリーシュ

必ずボードリーシュを足首に装着してください。

ボード

無理のない快適に浮く事ができる十分なボリュームのあるボードを選びましょう。

ハーネスライン(オプション)

セントラルストラートに設けられた取り付け箇所にハーネスラインを取り付ける事ができます。これにより、長時間のライディングが可能となります。

ホースクランプ

セントラルストラート内の空気圧を隔離するために使用します。クランプを開くとリーディングエッジ内の空気はセントラルストラートに入ります。ウイングに推奨空気圧まで空気を入れたら、クランプを絞って閉じてください。ブラダーから空気が漏れてしまった場合でも、クランプによってある程度の空気圧が保たれ、浮力が確保されます。

A)バルブを閉じるには、クランプがきつくなるまで、歯のラチェットを感じながら絞ってください

B)バルブを開くには、レバーを開いてクランプを開きます。



RULE No.3: 周囲への配慮と敬意を示す

1. 水上での優先順位を尊重する。

2人のライダーが反対方向から来た場合は、スターボードタック*のライダーが優先されます。ポートタック*のライダーは、速やかにスターボードタックのライダーの進路を開けるようにしてください。原則はスターボードタックのライダーが進路をキープし、ポートタックのライダーは進路を開けるようにダウンウインドに角度を変えてください。

ジャンプや方向転換をする前に、十分なスペースがあることや他のライダーの進路を妨害する事がないことを確認して行ってください。

2. 陸上の全ての人を尊重する

セッティング中、入水中、休憩中は、陸上にいる全ての人に注意し、近づけないようにしましょう。

*スターボードタック：通常のライディングで右手がリーディングエッジを持ってライティング

*ポートタック：通常のライディングで左手がリーディングエッジを持ってライディング

メンテナンス

1. 使用前

- ・ウイングは常に推奨空気圧で使用してください。(4 ページ参照)
- ・ウイングを地面に引きずらないでください。
- ・ウイングを 15 分以上日光に当てたまま放置しないでください。
- ・メインエアバルブとリトルセントラルストラートバルブ(大きいサイズのみ)が閉じていることを確認してください。セントラルストラートに傷や穴がないことを確認してください。
- ・ホースクランプを閉じて、セントラルストラートの空気を遮断してください。リーディングエッジやセントラルストラートから空気が漏れた場合に、空気が保持されます。

2. 使用中

- ・ウイングの上に落ちないようにしてください。
- ・ウイングを傷つける事があるので、滑り止め(ラフデッキ)加工のボードは使用しないでください。STARBOARD の SUP,ウイング用ボードは安全な組み合わせで作られています。
- ・ウイングに損傷を与える可能性のあるアクセサリは外してください。角の尖った時計やブレスレットなど。
- ・水の中に入る時や、上がる時は必ずニュートラルポジションのハンドルでウイングを持ってください。
- ・一般的には前の手(リーディングエッジ側の手)でウイングを保持し、後ろ手(トレーディングエッジ側の手)で風の取り逃しを行う。

3. 使用後

- ・使用後はウイングを綺麗な水で洗ってください。
- ・できるだけ 10 分以上干して乾燥させてください。
- ・リーディングエッジとセントラルストラートを繋ぐホースのクランプを開けてください。
- ・ウイングをたたみ始める前に、周囲が綺麗で、小さな石や、割れたガラス、その他鋭利なものが落ちていないか確認してください。
- ・10-11 ページに記載されている方法に従って、ウイングをたたみ始めます。
- ・ポンプやその他の付属品と一緒にバッグにしまってください。

修理

ウイングのバッグにはリペアキットが付属されています。

注意：空気漏れがあまりにも大きい場合は専門の修理屋さんにご相談ください。

修理を行う前に、以下の手順を踏む事が大切です。

- ・砂、水、風の影響がない場所で修理をしてください。作業には清潔で平らな十分なスペースを確保してください。
- ・修理前にウイングを真水でしっかりと洗い、完全に乾燥させ、表面はアルコールで洗浄してください。
- ・付属の修理キットとマーカーが必要になります。

リーディングエッジやセントラルストラートの修理

リーディングエッジやセントラルストラートに漏れがある場合は、下記の手順で修理を行ってください。

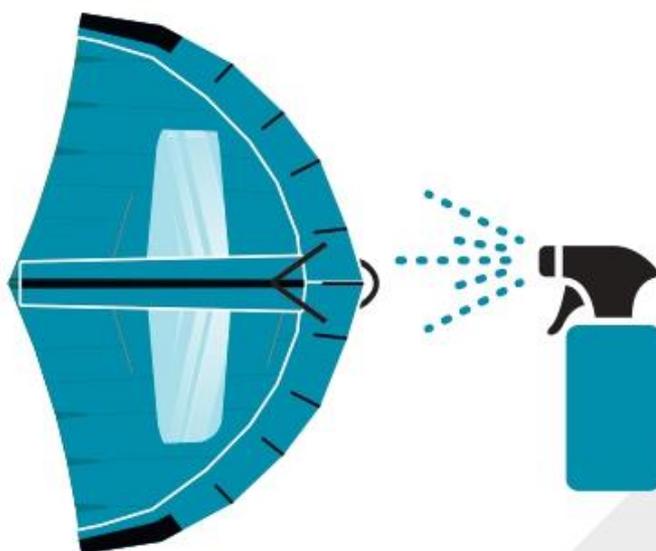
ウイングからブラダーを取り出し、ブラダーの空気漏れの部分を見つけて印を付け、ラバーパッチで補修し、ブラダーをウイング内に戻します。ブラダーが完全にウイング内に入るまで、ゆっくりと空気を入れます。

1. ブラダーが入った状態で空気漏れの場所を特定

ウイングに空気を入れ、空気漏れがどこにあるか音を聞いて探してください。音がわかりにくい場合は、バルブ周りに水をかけ、空気の抜けが確認できない場合は、リーディングエッジやセントラルストラートにスプレーなどで水をかけ、泡がでていないかを確認してください。

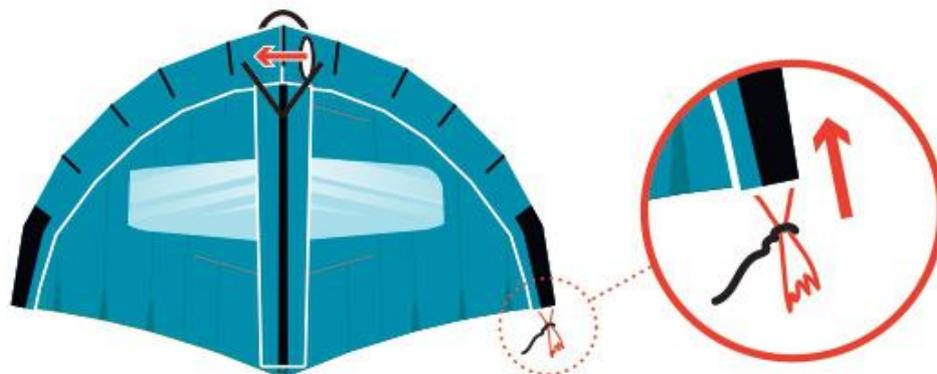
空気漏れが先端のすぐ近くやジッパーのすぐ近くである場合はブラダーを抜く事なく修理できる場合があるので、まずブラダーを抜く前に空気漏れの箇所を探してください。この場合、ステップ2と4をスキップする事ができます。

空気漏れが上記のような場所以外で発生している場合や、漏れを確認できない場合、ブラダーを取り外す必要があります。



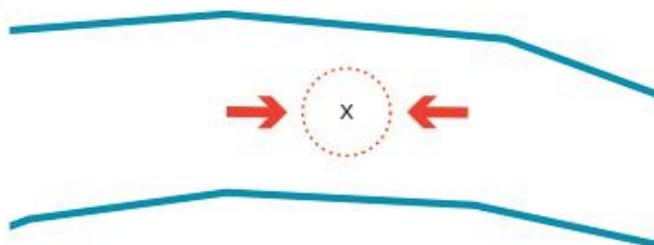
4. ブラダーの取り外し

ホースパイプをセントラルストラットから取り外し、バルブがついている場合はバルブも取り外します。リーディングエッジ(ウイングチップ)の両側に1本ずつ紐で結び、ジッパーからブラダーを取り出します。



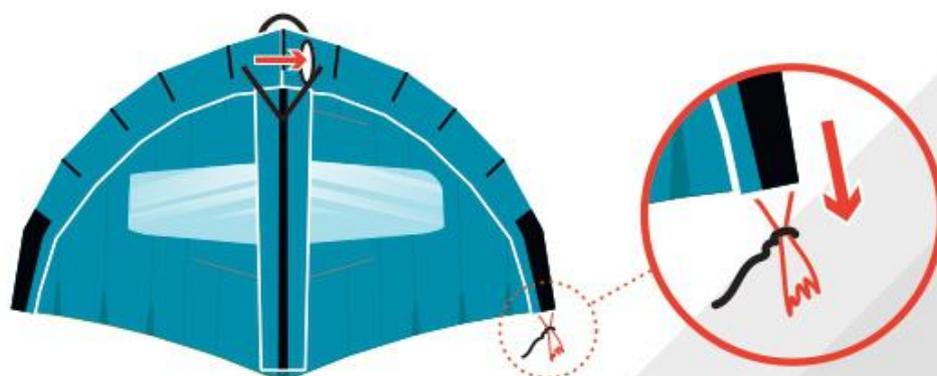
3. 空気漏れの場所を特定し修理する

水のスプレーを使用するかブラダーを水に沈めて空気漏れの場所を特定します。特定したらしっかりと乾燥させ、ペンで周囲に丸を書き、その部分を少しサンディングし、その後修理パッチ(修理キットに同封)を貼り付けます。



2. ブラダーを両方の紐を使ってウイングの中に挿入する

紐を使ってブラダーをウイング内に挿入し、ゆっくりと空気を入れて、ブラダーやウイングにシワがないことを確認しながら圧力を高めてください。ブラダーが完全に挿入されるまでは推奨される空気圧を入れないでください。



STARBOARD/AIRUSH

保証

STARBOARD/AIRUSH の商品は、購入日から 1 年間、材料または製造上の重大な欠陥がないことを保証します。

これは、通常の摩耗や破れは含まれません。

以下のものはこの保証の対象外となります。

- ・陸上や水上での衝突による破損。
- ・フォイル等鋭利なものによる接触による破損。
- ・不適切な手入れや保管による破損。

全ての保証請求は製品をご購入された、正規 STARBOARD 商品販売店様を通じて行う必要があります。保証請求に対する判断は正規輸入代理店によって判断され、販売店様からのご対応となります。STARBOARD/AIRUSH への直接の保証請求はできません。

保証の対象となるのは以下の通りです

1. 保証は、保証対象商品を正規販売店から購入した場合のみ有効です。
2. 保証は、通常のレクリエーションとして使用された場合にのみ有効です。
3. 保証は、適切な STARBOARD/AIRUSH の保証手続きが行われた場合にのみ有効です。STARBOARD/AIRUSH 保証手順に定義されている通りにしてください。
4. STARBOARD/AIRUSH は製品の欠陥を明確に示す写真の検査及び分析を行った後のみ、保証の判断をいたします。
5. STARBOARD/AIRUSH が製品に欠陥があると判断した場合、保証は、修理、重大な欠陥のみ交換の対応をさせていただきます。STARBOARD/AIRUSH は以下の事項について責任は負いません。製品使用できなくなったことにより発生した費用、損失、または損害。
6. 誤った使用方法、乱用、通常の摩耗による損傷(パンク、STARBOARD/AIRUSH 以外のパーツを使用している組み立て、過度な日光や風へ晒されたことによる破損、波や岸壁への衝突、接触による損傷、及び、材料や製造上の欠陥以外のものによって引き起こされる損傷を含む)によって生じた損害は保証の対象外となります。
7. 承認されていない修理、変更、改造が行われた場合は、保証は無効となります。
8. 修理または交換の保証は購入した日から 1 年以内となります。
9. 全ての保証請求には購入時の領収書を添付する必要があります。販売店名と購入日が明確に表記されている必要があります。
10. ここに明記されている内容を超える保証はいたしません。

STARBOARD/AIRUSH 保証手順

全ての保証請求については、製品を購入された販売店の要求に応じて以下の情報を提供する必要があります。

1. 損傷、故障の詳細な説明と、その経緯の詳細な説明が記載された完璧な請求書。
2. 購入を証明するもの。(領収書等)
3. 損傷、故障の詳細に示す写真とウイング全体の写真。
4. ウイングのシリアル番号を示す写真



ウイングをご購入されると

20年間で1トンのCO₂を吸収するマングローブを植え、1.1kg(一人当たりの年間に海に出してしまうゴミの量に相当)の浜辺・海のプラスチックゴミを回収したことになります。スターボードは地球環境改善に関する取り組みを行なっています。

AIRUSH
KITEBOARDING



STARBOARD
INNOVATION QUALITY